

touch

No.25

TAKE FREE

総合病院 土浦協同病院
広報誌 touch (タッチ)

特集

産前から産後まで

お産の取り組み

ふれあい 富士見塚古墳公園

かけはし 伊東クリニック 土浦皮膚科医院



産前から産後まで

お産の取り組み

妊娠・出産は人生の一大イベントです。妊婦さんやパートナーは、新しい家族が増える喜びとともに、不安に思うことも多いはず。当院は近隣の医療機関と協力しながら、ローリスクからハイリスクまで幅広い妊娠・分娩管理を行っています。医師、助産師、看護師など様々なスタッフが連携し、産前から産後まで切れ目のないケアを提供。妊婦さんが安心して大切な赤ちゃんをむかえるためのサポートをしています。

一方で県南地域の分娩施設は減少傾向にあります。地域のお産を守るためには、役割分担と地域連携の推進がますます重要になっていきます。今回はお産に関する当院の取り組みを紹介します。

役割分担と地域連携

当院での分娩を

お考えの方へ

妊婦健診

基本的に当院で分娩をされる方のみとさせていただきます。他施設での里帰り出産を予定されている方や、特に経過に異常のないローリスクの妊婦さんは近隣の医療機関での妊婦健診をお願いしています。

分娩予約制

当院は総合周産期母子医療センターとして多くのハイリスク妊娠を受け入れています。全ての妊婦さんに安心・安全な分娩を提供するため、分娩予約制を導入しています。分娩予約をご希望の方は、まずはお電話にて地域医療連携室にご連絡ください。ハイリスク妊娠に該当する方はもちろん、ローリスクの妊婦さんや帰省分娩の方の診療予約も可能です。

ハイリスク妊娠

当院では左記のような妊娠をハイリスク妊娠としています。近隣の医療機関でハイリスク妊娠と診断された方は当院にて診療予約を取得できます。

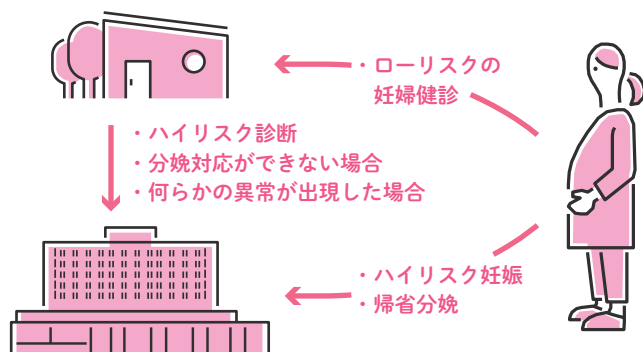
帰省分娩（里帰り出産）

他施設からの帰省分娩を受け入れています。当院での出産を希望される方は左記の週数を目安に受診してください。受診希望日の1ヵ月前程度に地域医療連携室までご連絡ください（県外の方は、感染対策のための待期間を設ける場合があります）。

役割分担と緊密な連携による地域のお産対応

近隣の医療機関

ローリスクの妊婦健診を担当



土浦協同病院

ハイリスクの妊婦健診や分娩管理、ローリスクの分娩、他施設からの帰省分娩、夜間・休日の緊急対応等を担当

■ ハイリスク妊娠の例

- ・若年妊娠（18歳未満）
- ・高年妊娠（40歳以上）
- ・多胎妊娠
- ・高血圧、糖尿病、甲状腺疾患、脳血管疾患、腎疾患、血液疾患などの合併妊娠
- ・前回の妊娠・分娩経過で重篤な異常があった場合（妊娠高血圧、早産、死産、胎児の先天異常、大量出血など）
- ・過去に子宮の手術歴がある妊娠
- ・子宮筋腫や子宮奇形のある妊娠
- ・その他、医師がハイリスクと認める妊娠

※これ以外にもハイリスク妊娠と考えられるものはあります。詳細は産婦人科外来や地域医療連携室にお問い合わせください。

■ 帰省分娩の目安

ハイリスク妊娠と診断された妊婦さん
帝王切開を予定されている妊婦さん

→ 妊娠 30 週～ 32 週が目安

妊娠経過が順調な妊婦さん
（上記に該当しない妊婦さん）

→ 妊娠 33 週～ 35 週が目安

※当院では分娩予約を取得するための受診は必要ありません。



こんなこともやっています！

当院の取り組み

ローリスクからハイリスク、産前から産後まで幅広い取り組みを行っています。お気軽にご相談ください！



助産師外来

ローリスクの妊婦さんを中心に、助産師が行う妊婦健診です。妊娠中から助産師と顔の見える関係をつくり、充実したマタニティライフを過ごしてみませんか？
その他、妊娠中の不安なことや心配なことがあれば、お気軽にご相談ください。

お問い合わせ…5B産科病棟

ハイリスク妊娠

ハイリスク胎児エコー

妊娠期間中に何度も超音波検査を行うことで、胎児の状態を定期的かつ経時的に観察します。エコーは動いた状態を観察できるので、特に心臓の異常などを発見するのに有効です。当院では、妊婦健診で異常が疑われる胎児を対象にハイリスク胎児エコーを実施することで、可能な限りハイリスク新生児の発見に努めています。



助産師外来の対象となる妊婦さん

- ・単胎妊娠の方（双子、三つ子以外の方）
- ・ご本人の希望があり、主治医からの許可がある方
- ・経産婦さんは前回の妊娠・分娩経過ともに問題のなかった方

助産師外来の内容

問診、尿検査、血圧測定、体重測定、子宮底・腹囲測定、胎児心拍音の聴取、超音波検査（推定体重は測りません）、保健指導、バースプラン確認、内診（37週以降）

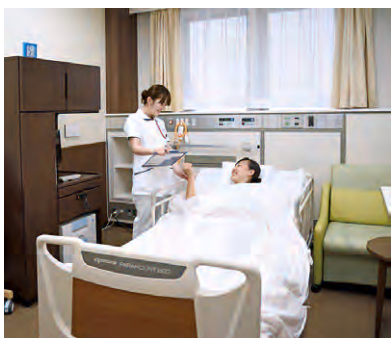
日時・料金

毎週火曜日 9:00～14:00（予約制）
通常の妊婦健診と同額（妊婦健康診査助成券が利用できます）

充実の設備とスタッフ

総合周産期母子医療センターとしてMFICU（母体胎児集中治療室）やNICU（新生児集中治療室）、GCU（回復治療室）などの施設をワンフロアに集約し、母子を切れ目なくフォローしています。

また、専門的な知識と豊富な経験を持つ助産師や看護師が多く在籍しているのも特徴です。妊婦さんが安心して入院生活を送れるよう努めています。



ゆとりのある空間を確保した MFICU

2週間健診

産後は心身ともに体調を崩しやすくなっています。退院して赤ちゃんとの新しい生活を送るなかで、疑問や不安がでてくる時期もあります。
当院では、希望する方に2週間健診（有料）を実施しています。母子の健康状態や様々な悩みに対し、助産師がアドバイスさせていただきます。

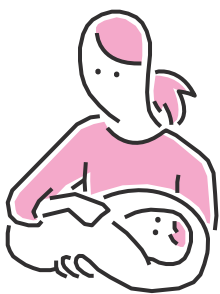


落ち着いた雰囲気で行われる分娩室



出産祝い膳

母乳外来



母乳で子どもを育てる「母乳育児」を多くのお母さまが希望されます。当院では経験豊富なスタッフが母乳育児をサポートしています。退院後も母乳育児を継続したいお母さまのために、母乳外来（有料）を開設しています。相談したいことや母乳に関するトラブルがあればお気軽にご相談ください。助産師や看護師がアドバイスさせていただきます。

場所…産婦人科外来助産師室
日程…火・水・金 13時～15時（要予約）
電話…029-830-3711



総合周産期母子医療センター長とアドバンス助産師

医師・助産師インタビュー 妊婦さんに 伝えたいこと



総合周産期
母子医療センター長
兼産婦人科部長
坂本雅恵

連携の力で出産を守る

当院は総合周産期母子医療センターとして多くのハイリスク妊娠・新生児を受け入れています。NICUやMFICUなどの施設を備え、妊娠に関連する幅広い合併症にも対応できる総合的な診療体制を整えています。また、ハイリスクに限らず地域のお産そのものを守っていくのも当院の役割であり、そのために必要なのが地域における役割分担と連携です。

近隣の先生方とは常に連絡を取り合



アドバンス助産師
柳田智美

体や気持ちの変化を大切に

い、良好な連携関係を築けています。ローリスクの妊婦さんでも、切迫早産の徴候や血圧の上昇など何らかの異常がでた場合は、早めに連絡をいただき、当院で対応する体制ができています。お互いをよく知っていて、安全なお産に向けて一緒に管理していく、地域全体でお産を守っていく、という認識を共有できているのは強みだと思います。里帰り出産に関しても地域医療連携室を通して事前に情報を取得し、リスクがあれば把握するようにしています。施設を移るにあたって不安なことがあれば、かかりつけ医に相談してみてください。連絡を取り合って対応します。

リスクに関わらず、医療の介入が必要になった時、いつでもすぐに対応できるようにするのが医師の役割です。助産師外来においても胎児スクリーニングなどは医師が行い、安全に分娩が行われるよう配慮しています。そしてなにより、安全なお産のためには妊婦健診が大切です。定期的な受診を心がけるようにしましょう。

助産師は新生児から高齢の方まで幅広い年齢層をケアの対象としています。が、病院においては妊婦さんに対応することが多くなります。当院はアドバンス助産師やIBCLC(母乳ケアのスペシャリスト)、骨盤ケアなどの認定資格を持った助産師が多数在籍し、ハイリスクからローリスクまで様々な妊婦さんのケアを行っています。

助産師として最も心がけているのが「お話をよく聞くこと」です。妊娠期間を安心して過ごしたい、無事に出産を迎えたいという願いは誰しも一緒ですが、社会背景や家族背景が加わると個人の求めることや必要なことは細かく違ってきます。それを汲み取るためにも、コミュニケーションを大切にしています。

☑ アドバンス助産師

一般財団法人 日本助産評価機構が助産師の助産実践能力を審査し、一定の水準に達していることを認証する仕組みです。助産師が、社会の要請に応じた経験を積んでいるか、必要な研修を受講しているか、助産に関する知識や技術がブラッシュアップできているかなどを確認します。認証をうけた助産師をアドバンス助産師といいます。

ウェブ開催 土浦協同病院市民公開講座

新型コロナ ウイルスから 命を守ろう

～知って得する感染症対策～



視聴方法

左の QR コードから動画視聴ページが開きます。視聴後のアンケートにご協力ください。

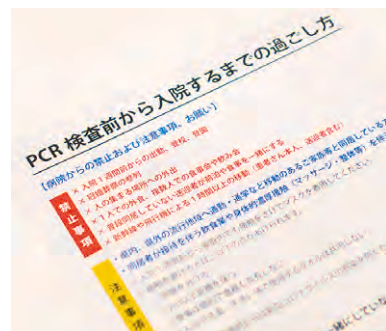


当院ホームページにて土浦協同病院市民公開講座「新型コロナウイルスから命を守ろう」を知って得する感染症対策」を公開しています。公開期間中は無料で何度でもご視聴可能となっています。どなた様もぜひお気軽にご覧ください。

【ウェブ開催】土浦協同病院市民公開講座
当院ホームページにて視聴できます

■ contents

- 01 院長挨拶
- 02 【病態と治療】「新型コロナウイルス」で命を落とさないために！！
- 03 【最重症者の治療】人工呼吸器とエクモ（膜型人工肺）って耳にしたことあるけど何？
- 04 【抗原抗体検査とPCR検査の違い】新型コロナウイルスの検査
- 05 【ワクチン情報】「新型コロナワクチン」で重症化を防ごう
- 06 新型コロナウイルスの感染予防対策（家庭や職場でうつさない、もらわない）



内容は感染状況等によって随時見直しを行っています。

当院では新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、入院される患者さんと、ご家族など同居者の方を対象とした「PCR検査前から入院するまでの過ごし方」を配布しています。

用紙には病院からの禁止事項や注意事項などが記載してあります。これらの事項に該当項目があった場合、入院を延期させていただくことがあります。ご不便をおかけいたしますが、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

PCR検査前から
入院するまでの過ごし方

ふれあい fu-re-a-i



富士見塚古墳公園

かすみがうら市柏崎 1553-3
.....

霞ヶ浦周辺では4世紀から7世紀にかけて有力な豪族が出現し、多くの古墳を残しました。富士見塚古墳群は、5世紀から6世紀にかけて造られた前方後円墳1基と円墳3〜4基からなる県内有数の古墳群です。なかでも1号墳は全長約80m、高さ35mの大規模な前方後円墳で、5世紀末から6世紀初頭に造られたとされています。古墳本体と周辺の発掘調査によって木棺や石棺、武器、様々な形の埴輪なども出土しました。1号墳の墳丘からは霞ヶ浦を一望できます。雄大な景色を眺めながら、霞ヶ浦と古代の人々の関わりに思いを馳せてみてはいかがでしょうか。



土浦皮膚科医院



住 所 茨城県土浦市大和町 9-2 ウララ 2-302
電 話 029-824-2298
診療科 皮膚科、小児皮膚科
院 長 吉田 寿斗志
休 診 日 水曜午前・木曜・日曜・祝日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 (10:00 ~ 13:00)	○	○	休	休	○	▲	休
午後 (15:00 ~ 19:00)	○	○	○	休	○	▲	休

※土曜日 (▲) の診療時間は
午前 9:00 ~ 13:00、午後 15:00 ~ 18:00 となります

ご挨拶

当院は昭和 53 年に前任である松葉修先生が開業いたしました。私は平成 29 年 10 月から引き継ぐ形で診療をさせていただいています。一般的な皮膚科疾患に関して、主に保険診療を中心に診察を行っています。湿疹やニキビ、とびひのほか、イボなど定期的な受診が必要なものも診ています。また、粉瘤の切開や簡単な熱傷や外傷の処置も可能で、悪性腫瘍を疑う場合は生検を行ったうえで、土浦協同病院をはじめとする対応可能な病院に紹介させていただいています。平日は 19 時と、比較的遅い時間まで診療を行っています。仕事や学校の帰りなど気軽に受診していただければと思います。



伊東クリニック



住 所 茨城県かすみがうら市下稻吉 2633-172
電 話 0299-59-1187
診療科 耳鼻咽喉科、アレルギー科
休 診 日 水曜・日曜・祝日
U R L www17.plala.or.jp/ito_ent_clinic

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 (09:30 ~ 12:30)	○	○	休	○	○	○	休
午後 (15:00 ~ 18:30)	○	○	休	○	○	▲	休

※窓口受付時間：8:30 ~ 12:30、14:30 ~ 18:30 (土曜日以外)
 ※土曜日 (▲) は 18:00 受付終了となります。
 ※臨時休診についてはホームページをご覧ください。

ご挨拶

2006 年 2 月の開業より、耳鼻咽喉科専門医としての基本的な診療をしっかりと提供することをモットーにしています。当院の特徴のひとつに超音波検査装置があります。これにより、首のリンパ節腫脹や甲状腺の腫瘍などの検査も可能となっています。これからも耳鼻咽喉科疾患全般のかかりつけ医として、誠意をもって診療していきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

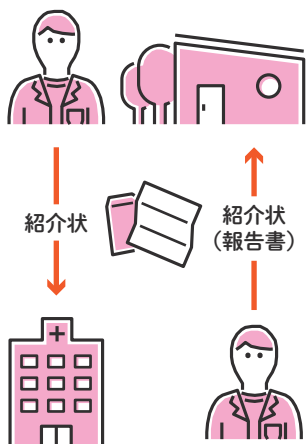


院長 伊東 善哉



ふたりの主治医を持ちましょう

ご近所のかかりつけ医と、当院の医師（専門医）のふたりが患者さんの主治医となります。それぞれの持つ機能に合わせた役割分担と、紹介状を通じた連携を強化することで適切な医療の提供を目指します。



かかりつけ医

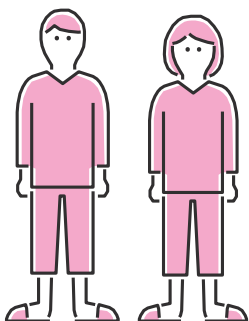
ご近所のクリニックや診療所が日常的な診療、健康管理を担当します。専門的な医療が必要になれば病院へ紹介。

専門医（病院）

専門的な検査や手術、入院が必要となるような医療を担当します。症状が安定したらかかりつけ医へ紹介。

人間ドックのご案内

半日で効率よく生活習慣病やがんの検査が行える日帰りドックをはじめ、多様なドックコースが選択可能です。また、脳や肺、心臓などの単独ドック、全身のがんを調べる PET-CT 検査もご用意しております。



お問い合わせ（予防医療センター直通）

TEL：029-846-3731

FAX：029-846-3732

受付時間：9:00～17:00（平日）



土浦協同病院附属真鍋診療所

地域のかかりつけ医として主に内科、小児科一般を対象に診療を行っています。専門的な治療を必要とされる方には紹介状を作成し、本院（土浦協同病院）にて速やかに診察が受けられるよう連携をとっています。



touch

No.25

令和 3 年 7 月 31 日発行



touch（タッチ）は土浦協同病院の広報誌です。地域とふれあい、私たちの理念を地域の皆様にお届けしたい、という願いを込めています。次号の touch は 10 月 31 日発行予定です。バックナンバーは当院ホームページから閲覧できます。

発行所／総合病院 土浦協同病院

編集／病院機関誌委員会

地域医療連携室

協同メディカルサービス株式会社

発行人／河内敏行

MAIL／general@tkgh.jp



総合病院 土浦協同病院

〒300-0028

茨城県土浦市おおつ野四丁目 1-1

TEL：029-830-3711

<https://www.tkgh.jp>